

1. 母音「アイ：ai」の連続が融合して「エー」になる地図（『新東京都言語地図 音韻』101・102・104）

①101：野菜の大根を何というか（●：デーコ・デーコンというか○：ダイコ・ダイコンというか）

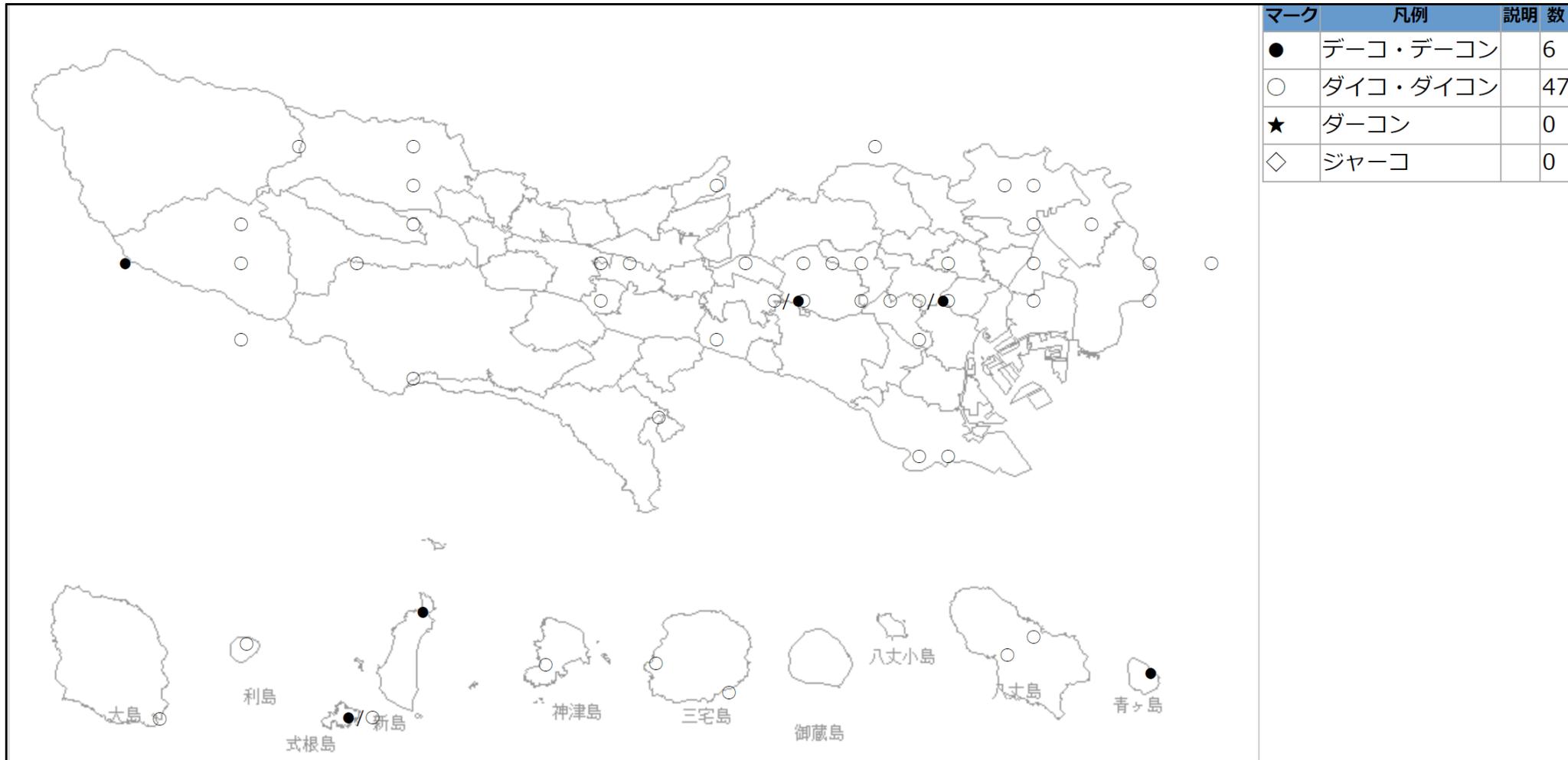
* 高年層では全域で確認できた「デーコ・デーコン」が若年層ではほぼ使われなくなっているという世代差が確認できる。

【高年層】（『多摩のあゆみ』第185号、25頁、地図1）



②101：野菜の大根を何というか（●：デーコ・デーコンというか○：ダイコ・ダイコンというか）

【青年層】（『多摩のあゆみ』第185号、25頁、地図2）



* 誌面に掲載した「大根」の地図のほかに、参考として世代差が少ない③④『痛い』、「大根」と同様の世代差が確認できる⑤⑥『入る』、についての図も次に示した。それもお覧いただきたい。

③102「お腹が痛い。」と言う時の「痛い」をどう言いますか。(●：イテ・イテというか○：イタイというか)

* 青年層に着目すると「大根」よりも多くの地点で、連母音が融合して「エー」になる現象が確認できる。

【高年層】



④102 「お腹が痛い。」という時の「痛い」をどう言いますか。(●：イテー・イテというか○：イタイというか)

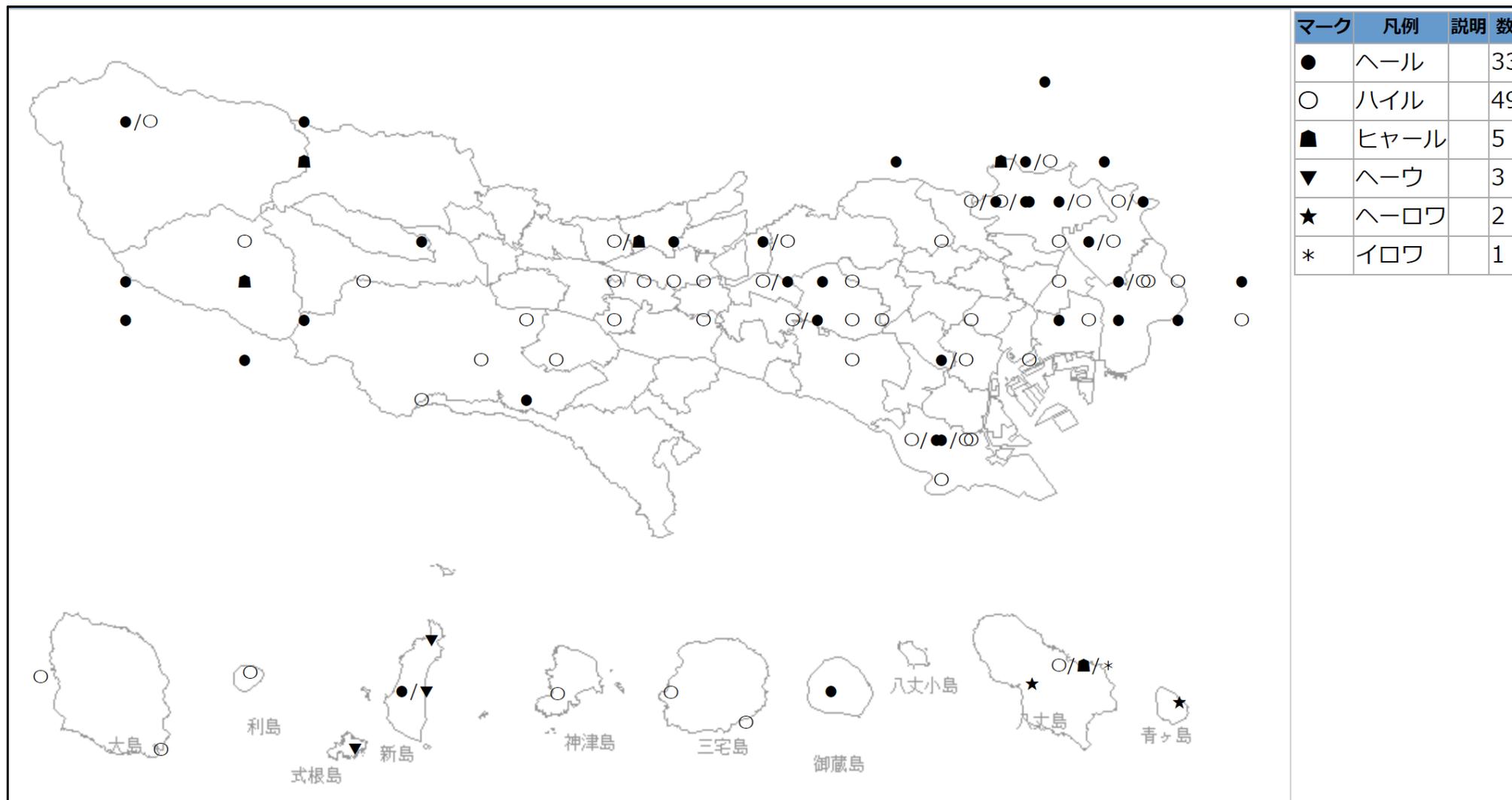
【青年層】



⑤104：「風呂に入る。」と言う時の「入る」をどう言いますか。(●：へールというか○：ハイルというか)

*「大根」の分布と似ており、高年層では全域で確認できた「へール」が若年層ではほぼ使われなくなっているという世代差が確認できる。

【高年層】



2. ヒとシの混同（『新東京都言語地図 音韻』112）

⑦112：西の反対の方角を何と言いますか。（東／●：シガシというか、○：ヒガシというか）

* 高年層では東西のことばの地域差が確認できる。（東側：シガシ／西側：ヒガシ）

* 高年層で確認できた「シガシ」が若年層ではほぼ使われなくなっているという世代差が確認できる。

【高年層】（『多摩のあゆみ』第185号、27頁、地図3）



⑧112：西の反対の方角を何と言いますか。(東／●：シガシというか、○：ヒガシというか)

【青年層】(『多摩のあゆみ』第185号、27頁、地図4)



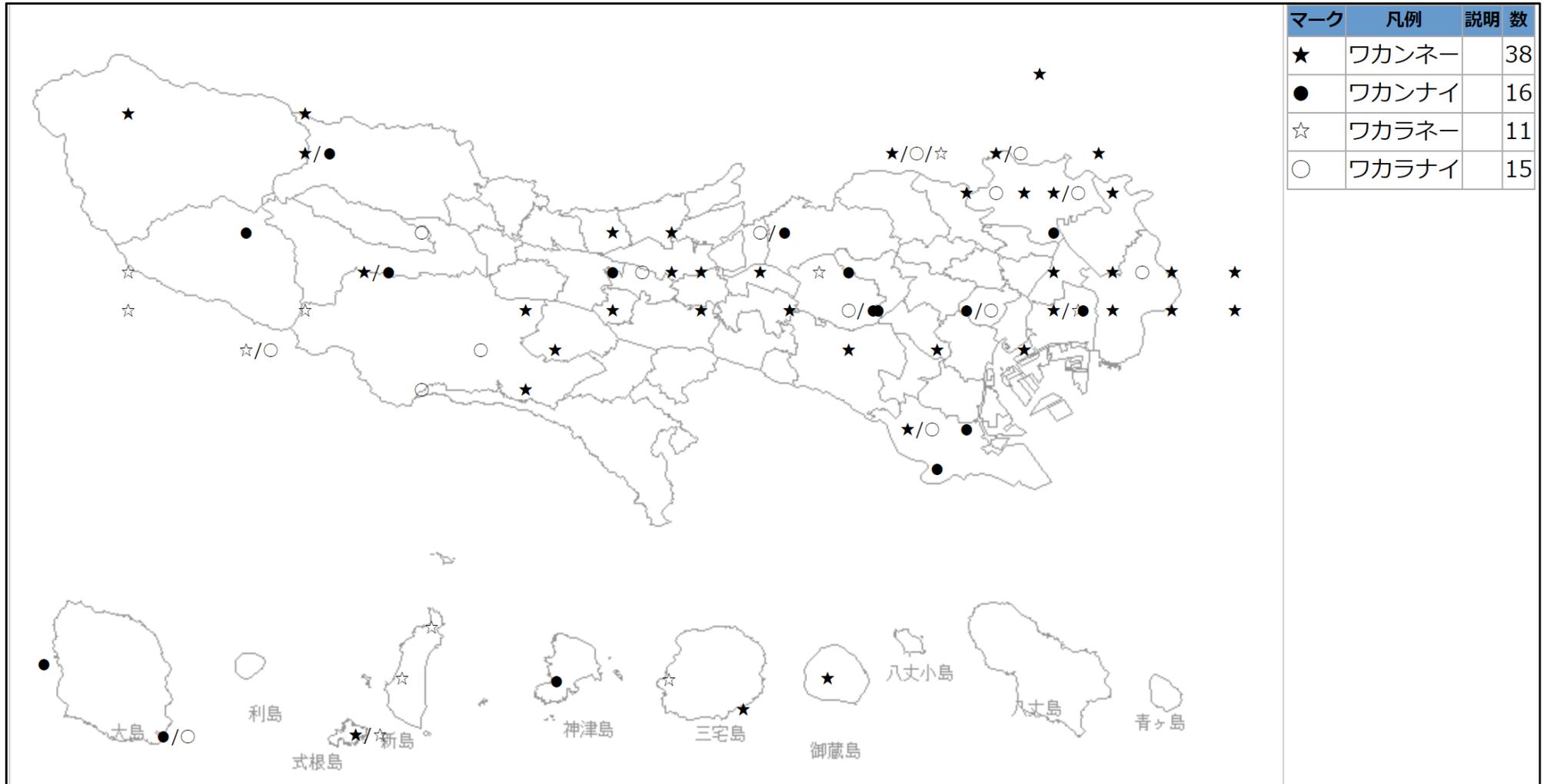
3. ラ行の撥音化（『新東京都言語地図 音韻』151）

⑨151：友達に旅行に誘われましたが、予定がはっきりしません。「行けるかどうか、わからないなあ。」と言う時の「行けるかどうかわからないなあ」をどう言いますか。（「わからない」に着目／●・★：ワカンナイ・ワカンネーというか、○・☆：ワカラナイ・ワカラネーというか）

* 世代が変わっても伝統的な「ワカンナイ」「ワカンネー」の言い方が保持されている

* 「ナイ」が「ネー」になるという連母音の融合した形式が高年層・青年層ともに優勢になっている（「①大根」「③入る」とは異なる特徴）

【高年層】（『多摩のあゆみ』第185号、30頁、地図5）



⑩151：友達に旅行に誘われましたが、予定がはっきりしません。「行けるかどうか、わからないなあ。」という時の「行けるかどうかわからないなあ」をどう言いますか。（「わからない」に着目／●・★：ワカンナイ・ワカンネーというか、○・☆：ワカラナイ・ワカラネーというか）

【青年層】（『多摩のあゆみ』第185号、30頁、地図6）

